

社会に出ることを心待ちにした児童がそろう学校



朝霞第二小だより

【学校教育目標】 進んで学習する子(知) 仲良く助け合う子(徳) 健康で明るい子(体)

〒351-0007 朝霞市岡3丁目16番13号 TEL048-461-0042

令和6年 10月1日(10月号) 児童数 754名(9/27現在)

流れていく先 ～この流れは海に、地球全体につながっている 環境問題～

校長 宮腰 高子

先日の全校朝会で環境問題に関わるお話をしました。まず映像無しで児童に聞いてもらったのは録音しておいた勢いよく流れる水の流れです。この水は、岡地区にながれる水、代官水(だいかんみず)です。今は一つの流れしか目にできませんが、今でも道路の下に暗渠で何本か流れているとのこと。昔は、この流れの中に入ってドジョウ等を捕ったり、蛍を見たり、冬にはそのあたりにあった田んぼが凍っていたのでスケートのように滑ったりして遊んだそうです。保護者や地域の皆さんにも同じような思い出を持っている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。先日、私も代官水を見てきたのですが、とてもきれいな水でした。ここで稲作が行われ、今の時期には稲穂が頭を垂れていたのでしょう。そして、子供たちの格好の遊び場でもあったのでしょう。現在この地区では、夏が近づくと代官水に蛍を放しているのだそうです。朝会では蛍とその光る様子を写真等で見せ、きれいな流れにしか生息しない蛍がいつの日か代官水に沢山戻ると良いと話しました。



それから、何枚かの写真を紹介しました。この水の流れが大きな川に合流し、海に流れ着くことや海には沢山の生き物がいることを児童は何かしらの形で知っていることを口にしていました。続いて、海鳥が海岸で命を落としている写真をみせました。死因は栄養失調のようです。海には食べるものがないのでしょうか。実は、困ったことに、海の生き物が、水と一緒に流れ着いたビニールや、プラスチックの破片を間違えて食べてしまっているそうです。ビニールやプラスチックは人間が作り出した物です。手軽でとても便利です。でも、木や紙のように土に戻りません。人間が作り出した物で、地球を苦しめて良いのでしょうか。



「私たちにできることは何でしょう。今すぐにできること、社会に出たらできること、その立場、立場でありそうです。この問題は学校生活の中では見えないけれど、事態は深刻で待つてはくれない、今も水は海に流れています。海のために地球のために、そして自分たちのために考えてみましょう。」と話を締めくくりました。

今回は、地球規模で起こっている環境問題と身近で大切にされている環境への取組みを話題にしました。少し難しかったかもしれませんが、何かをきっかけにふと思い出し行動できればと思います。



←地域にお住まいの埼玉県地球温暖化防止活動推進委員の清水克己さんによる5年生への出前授業があり、環境問題の様々な視点を教えて頂きました。

地域で農業を営む相沢敦さん(本校PTA会長)から、大カボチャ(アトランティックジャイアント)のプレゼントがあり、子供から出た沢山の質問にも答えて頂きました。→

